

テーマ

国語教科書との再会

適用分野

日本近代文学・児童文学・教育学・国語科教材研究



研究名称

教材目的に限定しない国語科教材研究

氏名所属

友田義行 教授
文学部 日本語日本文学科

内容

学校の国語教科書で出会う文学（小説・児童文学）の定番教材を、研究的な視点から分析しています。

当然のことながら、小学校・中学校・高等学校での授業は児童・生徒の学びのために行われます。よって国語科教材は、かなり限定的に読解されることとなります。むやみに難解な議論で子どもたちを混乱させたり、教室に不都合な問題を取り上げたりすることは避けられがちですし、作品の時代背景や作家の政治思想などにもあえて触れないことが少なくありません。学習指導要領に掲げられた目標の達成や、受験対策の技能も求められます。

しかし、その結果として文学の魅力を十分に追究できないこともあります。おそらく教科書を編集した方々もそのことに気付いており、成長した児童・生徒たちがいつか教室の外で教材と再会して、自力で新たな魅力に気付いてくれることを祈っているはずです。ただ、大人になってから国語教材を読み直すような方は、実際には少数でしょう（教育関係者を除けば）。教室から解放されたいま、自由に文学教材と再会したいという好奇心から、主に日本近代

文学研究で培われた方法を用いた、文学教材の研究を展開しています。教材を教材として限定的に扱うことをせず、一般的な文学作品と同様に読み解きます。また、読まれ方・教えられ方が時代によって変遷していることを、先行研究や指導資料から確認し、従来 of 解釈を相対化します。こうした手法により、かえって新たな教材的価値が見つかったりすることもあります。

これまでに読み込んできた教材は、ロシア民話「おおきなかぶ」、あまんきみこ「ちいちゃんのかげおくり」、新美南吉「ごんぎつね」、椋鳩十「大造じいさんとがん」、宮澤賢治「注文の多い料理店」「やまなし」、森鷗外「高瀬舟」、夏目漱石「夢十夜」、芥川龍之介「蜜柑」「羅生門」、目取真俊「魂込め」などです。電子ファイルで公開している論文もあります。



研究室URL：

https://researchers.adm.konan-u.ac.jp/html/100000994_ja.html

<https://researchmap.jp/tomoda-yoshiyuki>

キーワード

日本近代文学・教育学・国語科教材・児童文学・比較文学・物語論

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 □ コメント ■ 共同研究